心房細動アブレーションを受けられる患者様へ

様

	治療前日	治療日	1病日	2病日
日付	／	／	／	／
観察	・足の甲の脈の触れをみます ・動悸（ドキドキするか）を確認します	治療後は以下のことを観察します ・カテーテルを入れたところの出血、腫れがないかをみます ・不整脈が出ていないかみます ・足先の温かさをみます ・足の甲の脈の触れをみます ・息苦しさがないかをみます		・カテーテルを入れたところの出血、腫れがないかをみます ・不整脈がでていないかをみます
安静	・制限はありません	・治療後は医師の指示で安静度が決まります 〈治療終了〉 ↓ ←→ 約4～6時間 → 〈絶対安静〉 〈医師診察〉 ↓ ←→ 約2～4時間 → 〈ベッド上安静〉 〈看護師確認〉 ↓ 〈安静解除〉 ・足を曲げることができません ・寝返りはできません ・重りで足を固定します ・ベッドの上で起き上がれます ・寝返りをうてます ・出血がなければ病棟内を歩けます *腰痛が生じた場合我慢せずに看護師に伝えましょう		・病棟内を歩けます ・退院後1週間は過度な運動（スポーツ）は控えてください
食事	・食事は病院食、飲水はお茶と水のみになります ・水分制限の必要な方は主治医の指示に従ってください ・持ち込みは医師の許可が必要です	午前治療 / 午後治療 朝食：お食事はありません / 通常通り食べます 昼食：寝たまま食べます / お食事はありません 夕食：安静時間によりますが、 / 寝たまま食べます	・病院食がでます	
清潔	・除毛後に入浴できます	・入浴はできません	・シャワー浴ができます（刺したところは擦らないでください） ・入浴は退院日からできます（退院翌日は絆創膏をはずし、入浴できます）	
排泄	・トイレで排泄できます	・治療前に尿の管を入れます ・ベッド上での排泄になります	・尿の管を抜きます ・トイレで排泄できます	
処置	・左右の鼠径部の除毛を行います ・足の甲にマンジックで印をつけます ・入院後に点滴するための針を挿入します	・検査後に医師がカテーテルを入れたところの出血状況の確認、消毒を行います ・止血固定テープ部の拭き取りをします		
検査	・必要時に心電図、レントゲン、採血を行います	・治療後、心電図モニターを装着します	・心電図、レントゲンがあります	
薬物療法	・持参薬を提出してください ・薬の内容を確認し医師の指示の物を内服していただきます	・抗生剤を治療当日から2日間内服します(必要時) ・治療当日に点滴を行います ・鎮静に同意をいただき、点滴での麻酔をします		
説明 退院計画	・病棟内の御案内をします ・医師、看護師が治療の説明をします ・治療の同意書の確認をします ・カテーテル室看護師より術前説明があります	・検査室へ行く前に以下のものを外してください（眼鏡・コンタクトレンズ・時計・ピアス・義歯・指輪） ・検査室へ行く前にトイレを済ませ、病衣、T字帯に着替えてください ・治療後、医師から結果説明があります （今後の治療方針など）		
指導	入院診療計画書をお渡しします	治療結果により内服薬の変更がある場合、薬剤師から薬の説明があります		
目標	治療について説明内容が理解でき、納得して治療が受けられる	治療後の合併症（気胸・出血・腰痛）出現時、早期に発見され対処される	退院後の生活注意点が理解できる 穿刺部の痛み、しびれ、出血が続く場合や発赤、腫脹、熱感、膿が見られる場合受診してください	

※症状・経過によってはスケジュール通りにならない場合があります

2004年4月作成（2022年12月改訂） パス委員会承認 聖隷浜松病院A3病棟